

**三菱自動車、新型コンパクト SUV をインドネシア国際オートショーで世界初披露**  
～運転状況に合わせた4つのドライブモードを設定し、安全・安心で快適な走りを実現～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、8月10日（木）より開催される第30回インドネシア国際オートショー<sup>\*1</sup>で新型コンパクト SUV を世界初披露します。今回の新型コンパクト SUV では、三菱自動車初採用となるウェットモードを含む4つのドライブモードを設定し、さまざまな天候や路面において、安全・安心で快適な走りを実現しています。

\*1：正式名称は The 30th GAIKINDO Indonesia International Auto Show。2023年8月10日（木）から20日（日）まで開催予定。

また本日、新型コンパクト SUV のティザー動画と、ヤマハ株式会社（以下ヤマハ）と協業したオーディオシステム「ダイナミックサウンド」のコンセプトムービーを公開しました。

新型コンパクト SUV ティザー動画はこちら  
URL：<https://youtu.be/QZNmbBko-u8>

「ダイナミックサウンド」コンセプトムービーはこちら（英語のみ）  
URL：<https://youtu.be/nO1GcPOBY2w>



三菱自動車のコアマーケットであるアセアン地域に投入する新型コンパクト SUV は、「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトとしています。スタイリッシュかつ力強い本格的な SUV デザインとしながら、取り回しの良いコンパクトなボディサイズに広々とした居住空間や多彩な収納スペースなどの快適性・実用性を両立し、さまざまな天候や路面において安全・安心の走破性を実現した、毎日の生活をワクワクさせてくれる SUV です。

今回の新型コンパクト SUV では、アセアン地域でのコンパクト SUV の使われ方を熟慮し、荒れた路面でも安心のクラストップレベルとなる222mmの最低地上高を確保しました。加えて、路面状況に応じて選択できるノーマル、ウェット、グラベル、マッドの4つのドライブモードを設定しており、今回初採用となるウェットモードでは、激しい降雨による冠水路でもハンドルが取られにくく、不安なく走行することが可能です。

これらのドライブモードは、前左右輪の駆動力を調整して高い操縦性を実現するアクティブヨーコントロール（AYC）、タイヤのスリップを制御するトラクションコントロール、エンジン制御、パワーステアリング制御を統合制御することで、さまざまな路面状況に対応することを可能としています。



また、今回の新型コンパクト SUV で初搭載となるオーディオシステム「ダイナミックサウンドヤマハプレミアム」も、アセアン地域のお客様のニーズに応えられるよう開発しました。楽器・音響機器の開発からホールや劇場の音響設計まで手掛けるヤマハとの共同開発により、リスニングルームである車両側に最適な音質向上策を施すことで、スピーカーの性能を最大限に発揮させています。また、走行時は車速に応じて、音量だけでなく音質自体も補正する機能により、荒れた路面でも躍動感のある低音と、輪郭のはっきりした中高音が楽しめます。

チーフ・プロダクト・スペシャリスト（商品企画責任者） 伊藤雅寛のコメント

「新型コンパクト SUV の開発にあたって、アセアン地域の路面条件を再現した国内のコースで試験を繰り返しただけでなく、同地域で長期間に渡って徹底的に走行試験を実施し、走行性能を磨き上げました。また今回、新型コンパクト SUV にお乗りになるお客様にワクワクするカーライフを送っていただけるよう、高品質な音にこだわって開発した『ダイナミックサウンドヤマハプレミアム』も搭載しています。三菱自動車らしい魅力の詰まった新型コンパクト SUV に、是非ご期待ください。」

以上